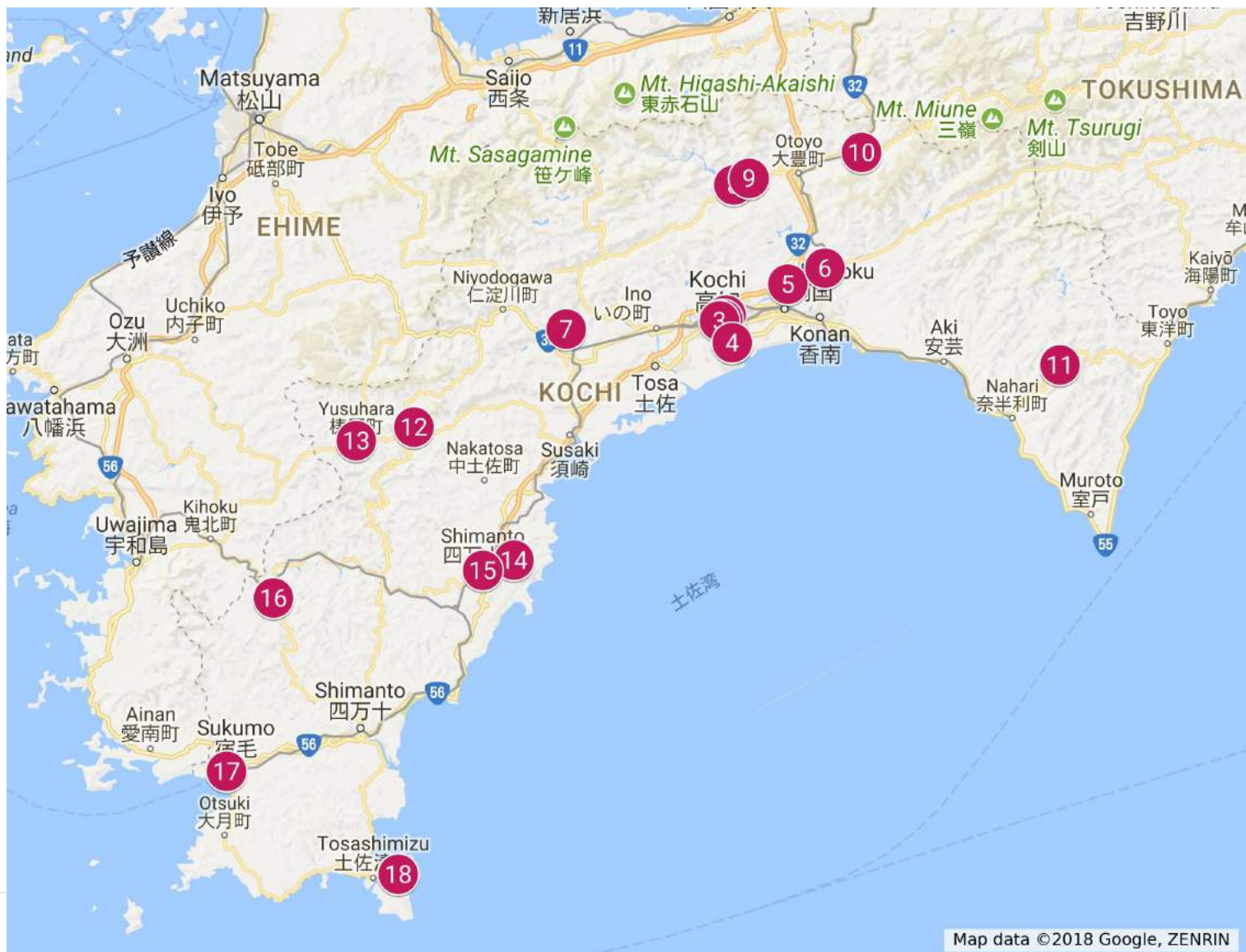


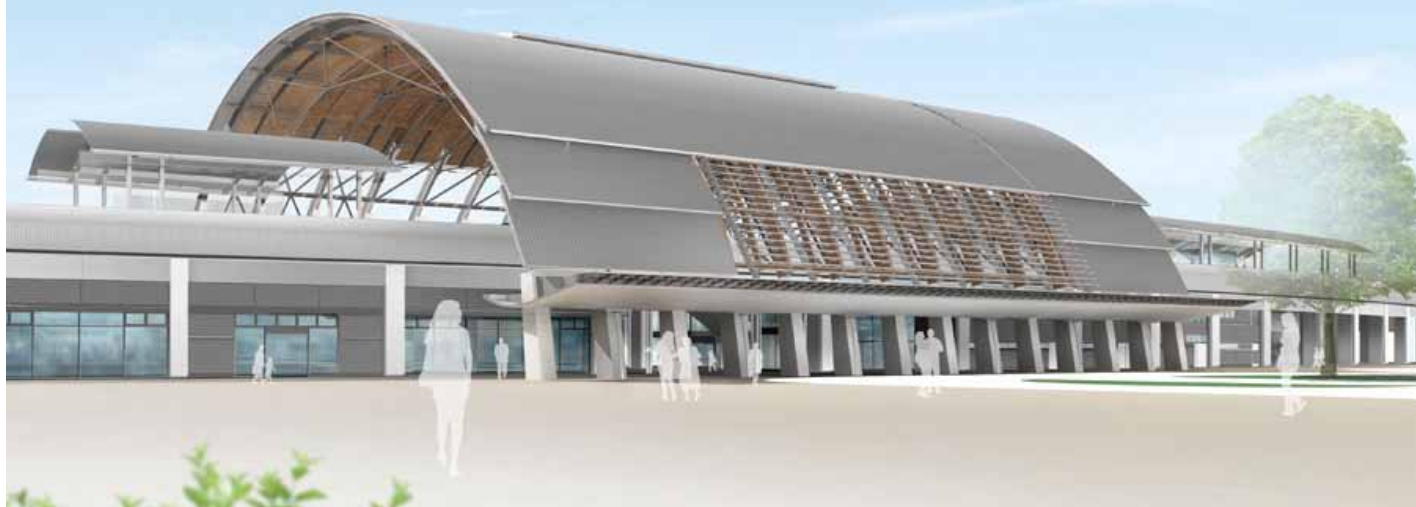
高知県木造建築マップ

高知県木造建築マップ

- 1 高知駅大屋根
- 2 S T 柳町 I
- 3 高知県自治会館新庁舎
- 4 はるのガーデン
- 5 高知県森連会館
- 6 高知県林業大学校
- 7 黒岩地区集落活動センター
- 8 田井高齢者福祉施設
- 9 嶺北森林管理署
- 10 豊永郷民俗資料館
- 11 北川村温泉 ゆずの宿
- 12 吉村虎太郎誕生地
- 13 梶原町役場
- 14
- 高知県立農業担い手育成センター
- 15 四万十町役場東庁舎
- 16 道の駅 よって西土佐
- 17 宿毛商銀信用組合
- 18 窪津漁業協同組合事務所



高知駅大屋根「くじらドーム」について



【概要】

県が実施するJR土讃線高知駅周辺連続立体交差事業の一環として高知駅の大屋根「くじらドーム」を新築しました。

大屋根は、駅前広場から柱が立上がり、駅をすっぽりと覆う構造で日本では例がありません。

また、単に駅舎の屋根というだけでなく、高知の新しいシンボルになるよう計画しました。土佐の風土らしく、「新しいもの」に挑戦してデザインしています。

【設置・管理】

高知県土木部

【設計】

株式会社内藤廣建築設計事務所（県内では牧野富太郎記念館を設計）

【施工経過】

平成18年3月11日	：新高知駅の大屋根着手の起工式
平成18年9月～19年2月	：大屋根集成材等の工場製作
平成19年3月22日	：大屋根主要構造部の組立開始
平成19年5月末	：大屋根主要構造部の組立完成
平成19年8月	：新高知駅舎の大屋根概成
平成20年2月26日	：高架切替（新高知駅開業） 大屋根愛称「くじらドーム」正式発表

【寸法】

延長60.9m 幅38.5m 高さ23.3m

【特徴】

- ・ 主要構造物や天井に高知県産の杉を使用し、木の暖かみをかもし出しています。
- ・ 屋根の外側は、落ち着いた色合いのチタン亜鉛合金を使用します。
- ・ 高知の台風や地震にも耐えられる構造で、100年は持つと言われています。
- ・ 専門家から、ヨーロッパの立派な駅にも負けない景観と評価されています。



プラットホーム



北口キャノピー内



エスカレーターより



「くじらドーム」に使用した集成材の杉材産地一覧（24市町村）

室戸市	香美市	高知市	高岡郡中土佐町
安芸郡東洋町	南国市	吾川郡いの町	高岡郡四万十町
安芸郡奈半利町	長岡郡大豊町	吾川郡佐川町	四万十市
安芸郡北川村	長岡郡本山町	須崎市	幡多郡大月町
安芸郡馬路村	土佐郡土佐町	高岡郡津野町	宿毛市
安芸市	土佐郡大川村	高岡郡梶原町	土佐清水市

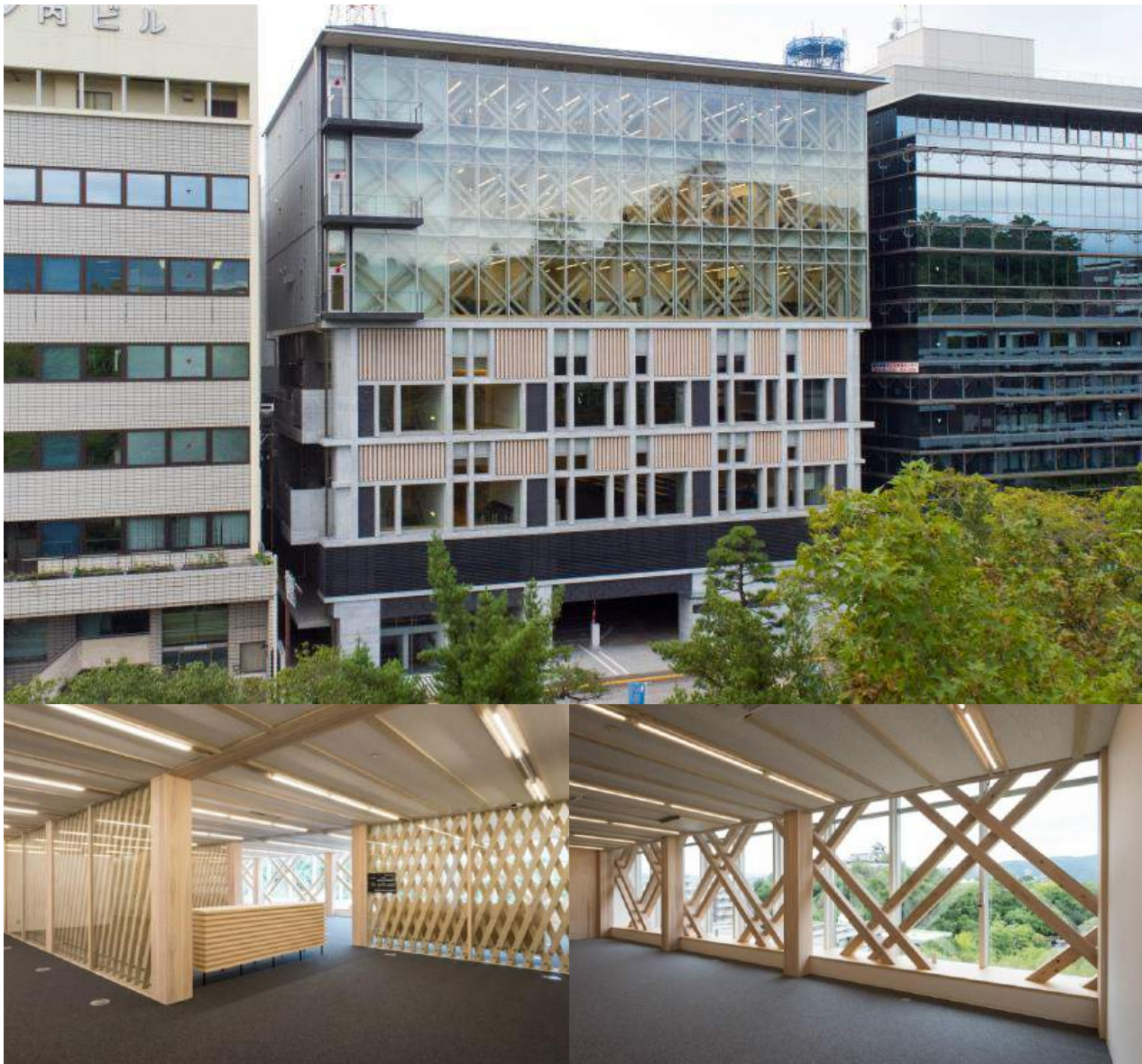
「くじらドーム」に使用した杉材の製作・加工も県内工場で行っています





写真撮影：(有)建築設計群 無垢

名称	S T 柳町 I		
竣工	2017年6月		
延べ床面積	243.91m ²		
使用したCLT	47.38m ³		
CLT利用部分	壁、床、屋根、階段		
CLTサイズ	壁：150 × 1,000 × 2,680・3,000mm、床：90 × 1,075~2,100 × 1,955~4,540mm		
構造	CLTパネル工法+軸組工法	設計ルート	限界耐力計算
防耐火	準耐火建築物（イ-2）		
用途	1階：飲食店、2,3階：事務所		
所在地	高知県高知市帯屋町1-14-20		
設計	(意匠) (有)建築設計群 無垢 (構造) 桜設計集団一級建築士事務所		
施工	大旺新洋(株)		
特長	CLTによる耐力壁・床板と集成材による柱・梁を組み合わせフレーム構成した準耐火建築物。耐力壁の上下階接合はGIR接合とする事で金物を壁内部に納め、片面を燃えしる設計によるCLT現しとしている。		



写真撮影：西川義章

名称	高知県自治会館新庁舎
竣工	2016年9月
延べ床面積	3,648.59m ²
使用したCLT	46.9m ³
CLT利用部分	耐力壁、間仕切壁、可動間仕切、移動間仕切
CLTサイズ	耐力壁T150×H3450×W2070～2685、その他T90
構造	1～3階：RC造、4～6階：木造軸組工法
防耐火	防火地域、1～3階：2時間耐火、4～6階：1時間耐火
用途	事務所（庁舎）
所在地	高知県高知市本町4-1-35
設計	（設計・監理）(株)細木建築研究所（構造）桜設計集団一級建築士事務所、樺建築事務所（設備）(株)アルティ設備設計室
施工	(株)竹中工務店 四国支店
特長	1階2階の中間に免震層を設け、1～3階がRC造、4～6階が耐火木造の中層庁舎ビル。木造部分の耐震要素は木材を木製ブレースと面材耐力壁で構成し、高耐力を必要とする面材耐力壁にCLTパネルを使用。



写真提供：高橋設計

名称	はるのガーデン		
竣工	2018年4月	階数	地上6階
面積	(建築) 1,309.53m ² (延床) 2,615.09m ²		
CLT利用部分	3~6階の壁	使用したCLT	319.277m ³
CLTサイズ	(最大) W1,500×D2,220×T 210 mm (5層7プライ)		
構造	1,2階RC造、3~6階木造	設計ルート	ルート3
用途	サービス付き高齢者向け住宅	防耐火要件	耐火建築物
所在地	高知県高知市春野町西分字丸ヶ谷695-1 他		
設計	(意匠) 高橋設計 (構造) 山本構造設計事務所		
施工	ミタニ建設工業(株)		
特長	はるのガーデンはRC造(1,2階)とCLT木造(3~6階)の立面混構造であり、日本で初の6階建てにCLTを用いた建築物である。水平構面はCLTパネルではなくヒノキ集成材の梁・桁を設けた在来軸組工法であり、床全体にCLTを使用する場合に比べて大幅なコストダウンを実現している。		

第14回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

高知県森連会館

所在地: 南国市

- 発注者: 高知県森林組合連合会
- 設計者: 鈴江章宏建築設計事務所
界設計室
○ケンチクジムシヨ
- 施工者: 株式会社岸之上工務店



高知県

施設の概要



■完成時期：平成28年3月

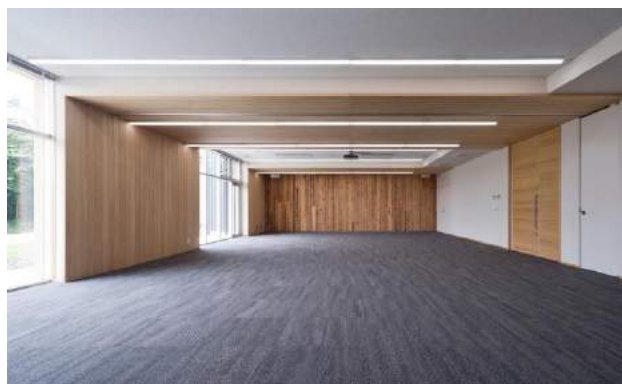
高知県森連会館は、高知県森林組合連合会の事務所として新築された木造2階建の準耐火建築物です。高知県では全国に先駆けてCLT建築推進協議会を設立し、CLTの普及に向けて取り組んでいます。当施設はその最初の建築プロジェクトです。

この新しい材料と工法を普及させていく第一歩として、この建築の役割は「ふつう」であることが大切だと考えられ、シンプルでプロトタイプとなる建築を心がけながら、木の力強さや優しさの表現、質実剛健な空間を目指し建てられました。そして、CLT材の持つ構造材、耐火材、仕上材という3つの性質を活かした建築物とし、わかりやすく見せる、伝えるデザインとなっています。

構造は、馴染みのある木造在来軸組構法にCLTを組み合わせた工法で、壁・床・屋根の構造材にCLTを使用しています。また、CLTの壁は燃焼試験を行い、準耐火構造の認定を取得することで現しでの使用を実現しています。

選 評

- ・初めてのCLTビルディングオフィスとして、デザイン性等に無理なくCLTを活用している点が評価できる。
- ・CLTの新しい利用法であり、見せるCLTであった。
- ・CLTの建築として表現できている点を評価した。





写真撮影：川辺明伸

名称	高知県立林業大学校		
竣工	2017年9月		
延べ床面積	1460.45m ²		
使用したCLT	161.53m ³		
CLT利用部分	壁、床、屋根		
CLTサイズ	(最大) 1,500 x 9,000 x 210 mm (7層7プライ)		
構造	木造軸組工法	設計ルート	ルート1
防耐火	一部耐火構造		
用途	学校		
所在地	高知県香美市土佐山田町大平80		
設計	(意匠) 細木建築研究所 (構造) 桜設計集団一級建築事務所		
施工	(株)岸之上工務店		
特長	CLT棟、耐火棟、在来工法棟に分け、各棟の工法が林業大学校の教材になることを意図し、かつ耐火棟を挟むことによって各棟を1,000m ² 以下としている。		

第15回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

黒岩地区集落活動センター

所在地: 佐川町

●発注者: 佐川町

●設計者: 有限会社艸建築工房

●施工者: 株式会社開洋



木の文化県
こうち



高知県

施設の概要



平成29年3月、高知市内から西へ約30kmのところにある佐川町黒岩地区に、地域待望の集落活動センターが新築されました。緑豊かな山々を背に、眼下に広がる田畑と穏やかな柳瀬川に囲れた大自然のど真ん中に位置する本施設。この風景には、複雑な外観、派手な意匠・装飾は空しさや寂しさを招くと考え、重心は低く、シンプルな切妻屋根と深い庇で雨風を守り自然と共生する風景と調和したデザインとなっています。構造部材は県産杉材を主流とし、鉄筋ブレースと調弦を適材適所利用することにより、眼下に広がる風景を借景として取り込む視界の広がりのある構

■完成時期：平成29年3月

面を形成しています。また、建設中に集会所の顔である玄関の壁と石積を造る工程に地域住民自らが参加するワークショップを行い、地域住民みんなの「イエ」づくりとして、愛着と記憶が継承されるような建物となっています。

選 評

- ・地域とのワークショップ等を取り入れながら造り上げた、地域密着型の施設である点が評価できる。
- ・内部空間に木造の新しい試みが多くみられ、好感が持てる。
- ・随所に地域と設計士の思いが感じられる。子供たちが大人になったときに地域に愛着を持ってくれるような施設だと思う。

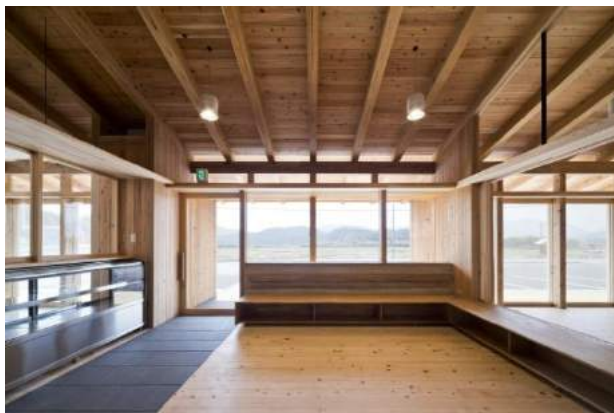
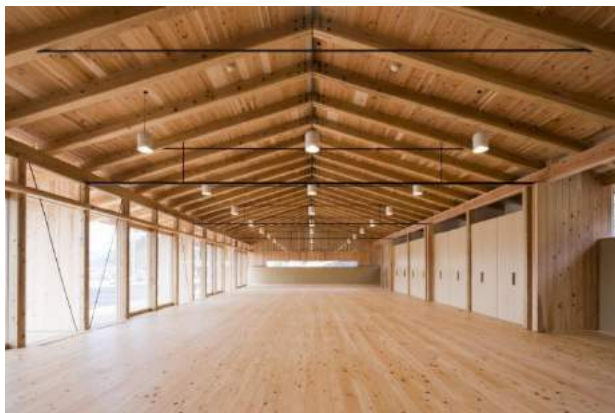




写真 提供：鈴江章宏建築設計事務所

名称	田井高齢者福祉施設
竣工	2016年5月
延べ床面積	592.92m ²
使用したCLT	65.77m ³
CLT利用部分	壁、床
CLTサイズ	壁：90（3層3プライ）×1,200×3,400mm、床：150（5層5プライ）×1,900×3,600mm
構造	木造軸組構造
防耐火	—
用途	高齢者福祉施設（1階）、寄宿舍（2階）
所在地	高知県土佐郡土佐町田井
設計	鈴江章宏建築設計事務所
施工	岸之上・筒井特定建設工事共同事業体
特長	木造軸組工法+CLTの利用。CLTは壁と床の構面材として使用。 また家具や造作材にも使用している。

林野庁
四国森林管理局
四国地方整備局
九州森林管理局
九州地方整備局 同時発表

平成 29 年 6 月 8 日
大臣官房官庁営繕部
整備課

国の庁舎整備で初めて CLT パネル工法を採用

～設計・工事発注の進捗について～

国土交通省及び林野庁は、今年度、「^{れいほく}嶺北森林管理署」及び「^{さいとこゆ}西都児湯森林管理署」の庁舎整備（官庁営繕事業）に着手します。

これらにおいて、国の庁舎整備として初めて CLT パネル工法を採用します。

国土交通省及び林野庁では、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、新たな木材需要の創出が期待される CLT を活用した庁舎整備に取り組んでいます。

この「^{れいほく}嶺北森林管理署」（高知県長岡郡本山町）及び「^{さいとこゆ}西都児湯森林管理署」（宮崎県西都市）の庁舎整備は、国土交通省が林野庁から支出を委任されて発注を行うもので、国の庁舎整備として初めて CLT パネル工法^{※1}を採用することとなりました。

国土交通省の地方整備局が発注予定の次の 2 事業の進捗状況についてお知らせします。

- ・ 嶺北森林管理署庁舎整備事業（四国地方整備局発注予定） 詳細は別紙 1
- ・ 西都児湯森林管理署庁舎整備事業（九州地方整備局発注予定） 詳細は別紙 2

※1 CLT パネル工法とは

CLT（Cross Laminated Timber，直交集成板）をパネルとして、床、壁、屋根などに使用して建築物を建てる工法。

平成 28 年 3 月 31 日及び 4 月 1 日に建築基準法令に基づき、CLT パネル工法を用いた建築物の一般的な設計手法等に関する一連の告示が公布・施行された。

嶺北森林管理署庁舎整備事業（四国地方整備局発注予定）

1. 設計・工事発注の進捗状況

現在、基本設計終了し、実施設計中。（設計者：（株）あい設計）

工事のスケジュール：平成 29 年度第 2 四半期公告予定

平成 30 年度完成予定

2. 規模・構造等

工事場所：高知県長岡郡本山町（現地建て替え）

1) 庁舎 CLT パネル工法 2 階建て

2) 車庫倉庫 CLT パネル工法 平家建て 総延べ面積約 590 m²



画像中央が庁舎。庁舎の背後にある平家建てが車庫倉庫
CLT の使用予定部位：庁舎の壁、2 階床、屋根の構造材、玄関庇等
イメージ図※ 1

※ 1 イメージ図はあくまで基本設計段階のものであり、発注時とは異なることがあります。

第13回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

豊永郷民俗資料館

所在地:大豊町

●発注者: NPO法人豊永郷民俗資料保存会

●設計者: 株式会社上田建築事務所

●施工者: 有限会社勇工務店



高知県

施設の概要



この資料館は、国指定の重要有形民俗資料2,595点と大豊町指定の約10,000点の民俗資料を収蔵・展示するために建てられました。

建物は木造2階建・2棟からなり、敷地の形状と高低差に合わせて蛇行するように建てられています。伝統木構法に倣い組み上げられた大きな柱や梁は、迫力があり、あたかも“木の森”のようです。

高知の蔵や城郭に倣った厚い2層の土壁には、調湿・調温機能があり、資料館に足を踏み入ると、蔵に入った時のようにひんやりとした空気を感じられます。黒色消石灰クリームを使った天井は、色ムラをつけて雲のように塗ることで、宇宙を想像させる奥深い空間に仕上がっています。

■完成時期:平成27年6月



選 評

- ・木の床に寝そべったり木に触れたりできる点、壁構造の模型を見せることで技の伝承ができる点等が評価できる。
- ・立地や背景を含めて、建物に受賞するだけの説得力がある。
- ・木造ラーメンとしての肘木構造の集大成をこの建物で表現し、展示空間が良いスケールできている。
- ・内部空間が良い。展示品が入ることで、どうなるのか楽しみである。



2018年
09月13日 (木)

高知の天気 (もっと詳しく)

現在  6時間後 

サイト内検索

こんにちは ゲスト様

[ログイン](#)

[高知のニュース](#)

[国内・国際](#)

[特集・連載](#)

[イベント](#)

[医療・健康](#)

[連載アーカイブ](#)

[音声ニュース](#)

[新着](#)

[主要](#)

[社会](#)

[政治・経済](#)

[訃報](#)

[社説](#)

[文化・芸能](#)

[教育](#)

[環境・科学](#)

[スポーツ](#)

[コラム](#)

[地域別](#)

[2018西日本豪雨](#)

[ホーム](#) [高知のニュース](#) [主要](#)

2018.06.16 08:40

新「北川村温泉」落成 6/26開業 CLT工法で建設 高知県

[シェア](#) [ツイート](#)

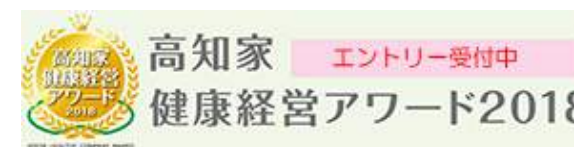
高知県安芸郡北川村が小島地区で建て替えを進めていた「北川村温泉ゆずの宿」が完成し、15日、報道関係者に公開された。直交集成板（CLT）をふんだんに使い、木のぬくもりが伝わる開放的な空間が広がっている。CLT工法で建設される温泉施設は全国初という。16日に落成式を行い、26日に本格開業する。



新築された北川村温泉と皆谷英明支配人（高知県安芸郡北川村小島）

北川村温泉は1975年に村が整備。一時は、耐震面を考慮して大規模改修を目指したが、新築に方針転換し、昨年5月に着工していた。建築工事費は約8億6500万円。

完成した建物は、木造2階建て（延べ床面積1475平方メートル、一部RC造り）で、1階に大浴場やレストラン、ロビーがあり、2階は計14の客室（定員46人）。全室から奈半利



川の眺望が楽しめ、3室には半露天風呂が付いている。

使われた木材633立方メートルのほとんどが県産で、うち半分近くが北川村産。CLTは計404立方メートルを使用した。

1泊2食付きの平日料金は1人1万2千円（2人利用時、税別）からで、風呂付きの3室は1万8千円（同）から。日帰り入浴は700円（税込み）で村民は300円。17～25日は、村民と同伴者は無料で入浴できる（村民パスポート提示が必要）。

「モネの庭」を運営する第三セクター「きたがわジャルダン」が指定管理者。皆谷英明支配人（54）は「『わざわざ来ていただける宿』を目指す。県内や地元の方も気軽に訪れ、泊まっていたければ」と話している。日帰り入浴は火曜休み。予約や問い合わせは同温泉（0887・30・1526）へ。（北原省吾）

カテゴリー： 主要、社会、政治・経済、安芸



3室は部屋風呂を備える。ゆったりくつろげる広さ



無色透明の湯は、肌がつるつるになるという。露天風呂からは里山の景色や星空が見える



アクセスランキング

一覧

24時間	1週間	1ヶ月
------	-----	-----

01 高校生の実習売上200万円横領 高知県春野高の男性教諭懲戒免

02 高知市の善楽寺で遍路映画口ケ 日本と台湾の女性の自立描く

03 TT総研、10代のスマホサービストレンドを調査 スマホネイティブ世代が毎日使うアプリ・WEBサービスは？

04 高知県立高校教諭が体罰で減給 生徒転倒させ、たたく

05 硫黄島で火山性地震増加 1日で500回超、噴火の可能性

06 北海道地震での全域停電 四国では「可能性低い」四国電力説明

第12回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

大野見の家

所在地: 中土佐町大野見

- 発注者: 下村 具裕
- 設計者: 水野淳一建築設計事務所
- 施工者: 森野建築



高知県

施設の概要



この建物は、四万十川支流が流れる場所に位置し、施主自らが施工に携わった建物です。施主は高知市内から大野見の土地に移り住むことを計画し、将来的に農家をしながら観光農園としてゲストを招き入れることができる家を希望していました。ふんだんに使用された木材は、近くの製材所から調達されており、土台以外はすべて杉を使用しています。

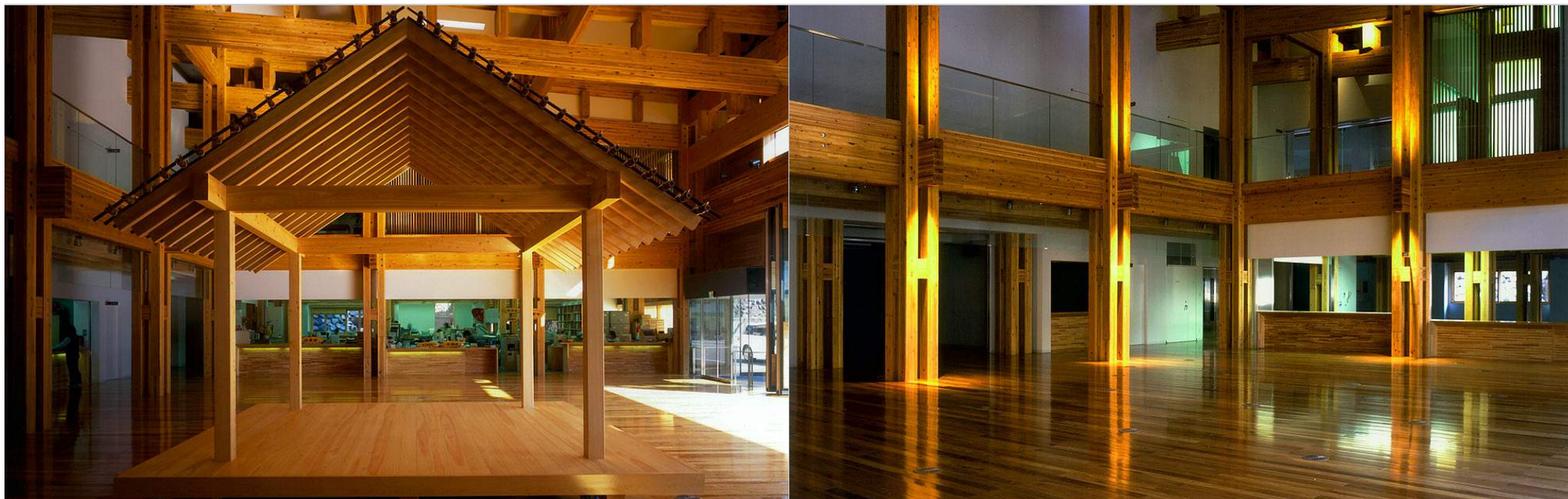
生活の中心となっている土間には、対岸の美しい風景がよく見えるよう高さや角度が計算された開口部、京都の「川床」をイメージしてつくられた板の間があり、四季折々の変化を見せる周りの風景を楽しむことができます。

■完成時期: 平成26年5月

選 評

- ・施主自らが施工に携わっているハーフビルドで、田舎暮らしを実現している。
- ・素朴な建物と住む人が似合っていた。まわりの美しい自然風景と建物がピタッとはまる。
- ・施主も施工に携わるハーフビルド、市内から移り住み過疎地域で生きていく決意をした若者を評価したい。
- ・自然環境、周辺環境と調和がとれるよう配慮されている。





梶原町総合庁舎紹介



梶原町総合庁舎

梶原町総合庁舎は、「防災の拠点機能」、「住民の利便性」、「環境と梶原産材の利用」を熟思して、平成18年に誕生しました。

四万十川源流の豊かな自然環境に育まれた梶原産材の杉材をふんだんに使用。館内全域に温かい木のぬくもりが漂っています。

一階ホールには、梶原町伝統の茶堂が設えられ、旅人をお出迎えします。町の歴史と風土の資材が融合した建物は、町民はもちろん、町外のお客様にも親しみを感じてもらえる建物として愛されています。



PHOTOGRAPH CREDIT : Mitsumasa Fujisuka





写真撮影：高知県

名称	高知県立農業担い手育成センター長期研修用宿泊施設
竣工	2016年4月
延べ床面積	723.60m ²
使用したCLT	274m ³
CLT利用部分	1階2階壁、2階床、屋根
CLTサイズ	壁厚さ：90mm（3層3プライ）、床・屋根厚さ：180mm（5層6プライ）
構造	CLTパネル工法（国土交通大臣による認定）
防耐火	地域指定なし
用途	寄宿舍
所在地	高知県高岡郡四万十町黒石
設計	意匠：田中建築設計事務所 構造：(株)日本システム設計
施工	建築：(株)田邊建設 電気：(株)高知クリエイト 機械：四国三研工業(株)
特長	壁は90mmの薄型パネルを使用。施工性の向上を図り、壁は大判パネル(最大2.7m×4.0m)も活用。壁と床の接合部には防音強化のため防振材を設置。

第12回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

四万十町役場本庁舎

所在地: 四万十町琴平町

●発注者: 四万十町

●設計者: 株式会社松田平田設計

●施工者

: 入交・田邊・郷田特定建設工事共同企業体

: 和・生田・松井特定建設工事共同企業体



木の文化県
こうち



高知県

施設の概要



この建物は、町有林のヒノキの間伐材を内外にふんだんに使用し、四万十町らしさを表現する町のシンボルとして建てられました。JR四国の線路を挟んで分かれて建つ西庁舎、東庁舎を3階にある渡り廊下がつないでいます。

木材は四万十町森林組合に発注し、製材は町内製材業と協議を重ねながら、構造材約250㎡、汎用材300㎡の材を確保しました。窓口カウンターや床・壁・天井材にも四万十ヒノキが使用されていて、木で包まれた空間で来庁者を迎えられるようになっています。町行政のシンボルとなる議場の壁には、小断面のヒノキの角材で波型に似せた凸凹をつくり、四万十川の雄大な流れを表現しています。

■完成時期：平成26年3月

選 評

- ・規模の大きな建築物ながら、木質化に配慮しており、地元の木を使うことへの努力がみられる。
- ・正統派の木材構造物として素直に評価できる。
- ・オープンスペースを多くとって、開放感がある。
- ・外観にもこだわり、照明をつけるなどして木の良さをアピールしている。



第14回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

道の駅よつて西土佐 ●発注者：四万十市

所在地：四万十市

●設計者：株式会社寒川建築研究所

●施工者：山沖・益岡特定建設工事共同企業体



高知県

施設の概要



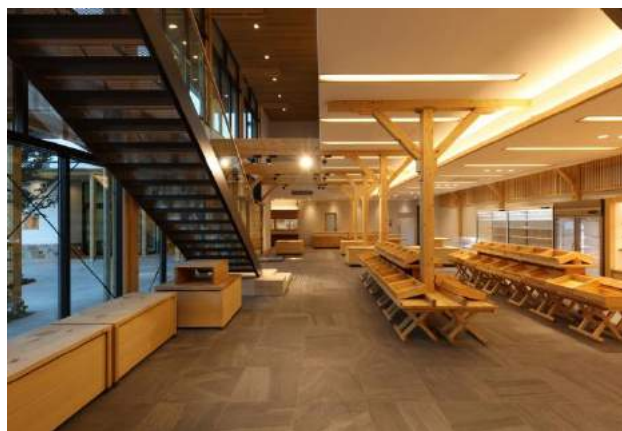
この施設は、地元産木材を積極的に活用した木造2階建て（一部RC造）の施設であり、四万十川流域の景観と調和した西土佐地域の新しいランドマークです。地元産の素材（土佐桧、杉、漆喰、和紙等）を多用し、その土地で日本一の大きさを誇ったモミの木を家具等に活用するなど、内部は程よい木の存在感と、統一感のある内装によって落ち着いた雰囲気となっています。

■完成時期：平成28年3月

また、地域に開放されたコミュニティスペース等が盛り込まれており、地域住民の憩いの場であるとともに、愛媛県や奥四万十方面からの観光客をあたたかく迎え入れ、西土佐らしさと木造建築の良さを県内外に広く発信しています。

選 評

- ・二階が地域のコミュニティスペースになっている点が評価できる。
- ・ふるさと市でのもみの木の使い方も、二階のコミュニティスペースも、地域の憩いの場所として楽しみである。
- ・人が行きやすい工夫が良かった。
- ・西土佐として意味のあるデザインである。





写真撮影：建築舎KIT

名称	窪津漁業協同組合事務所	
竣工	2016年1月	
延べ床面積	253.92 m ²	
使用したCLT	42.05 m ³	
CLT利用部分	床、壁	
CLTサイズ	床 (180x2,400x5,200mm) 壁 (90x1,080x2,100~3,045mm)	
構造	在来軸組木造	
用途	事務所	
所在地	土佐清水市窪津476	
設計	建築舎KIT	
施工	(有)笹工務店	
特長	CLT真壁、ツインコア、せがい造り、1,200グリッド	

第15回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

宿毛商銀信用組合本
店・宿毛支店

所在地:宿毛市

- 発注者:宿毛商銀信用組合
- 設計者:有限会社艸建築工房
- 施工者:株式会社山幸建設



高知県

施設の概要



■完成時期：平成29年6月

周囲360°からの視線を集める印象的な造りとなっています。また、銀行内のベンチや来客者記載台などの様々な家具を既製品ではなくCLTで製作し、随所に配置しており、来行された方々を温かく迎えてくれる、今までの銀行の閉じた重厚なイメージを大きく変えてくれる建物となっています。

宿毛商銀信用組合本店・宿毛支店は、愛媛県に接する宿毛市の郊外にある全国的にも珍しい木造の金融機関施設であり、日本で初めてCLTを主要構造部に用いた銀行です。長年地域経済を支えてきた本銀行ですが、社屋の老朽化による統合店舗の新築にあたり、建築主が地場産業と林業活性化を願い、CLTを用いた銀行店舗の新築が実現しました。

内部は、銀行としての機能性を向上させるため、CLT床材と大断面集成材により営業室・ロビーの無柱空間を実現し、外部は周囲の田園風景の中で、海側から山側に大きく葺き上げられた片流れ屋根が

選評

- ・CLTを見出しで使う工夫が各所に見られる。銀行の支店でも十分に木質化できることを証明している。
- ・デザインがとてもいい。これからの銀行のイメージが変わるのではないかと思う。
- ・景観に配慮しており、田園風景にマッチしたデザインである。

